



未来を夢見て Season 2

2021/5/28 No. 78

はらぺこあおむし～エリック・カールさんに哀悼の意を表して～

「先生と同じ速さでノートに書きましょう。」

5月28日（金）2校時、2年2組の算数の授業の1コマです。子供たちは先生が板書したことは、原則ノートに写します。なので先生も、子供たちがノートに写すことを前提に板書します。一方、先生が板書すると、特に両端の子は「黒板を見て」ノートに写すことができません。そんな時は「耳」を使わせます。先生が声を出しながら板書すると、例え「黒板が見えなくとも」子供たちはノートに写すことができるようになります。当たり前のようですが、小室先生と2年2組の子供たちが、このことがしっかり身に付いていることに感心しました。



本校では「学びや生活のスタンダード」があります。現在新しい生活様式でのスタンダードが示せるように加藤先生が改訂作業に取り組んでいます。その中には学習用具も含まれていて、赤鉛筆と青鉛筆も必需品です。**子供たちの中には「赤青鉛筆の両端を削ったもの」を持っている子がいますが、これは大変危険です。真ん中の写真のように、もし両端を削っていたら、キャップを付けるように指導をしてください。**



さて今朝のニュースで『はらぺこあおむし』の作者エリック・カールさんの訃報が流れました。もみじ学級さんのPUTでは遠藤順子先生が早速読み聞かせを行って下さいました（本校の図書室にはエリック・カールさんの絵本がたくさんありました。実は松島先生に教えていただきました）。

もみじ学級さんのお話の聞き方は全校一です。聞くことは学習の基礎・基本の中でも最も大切な学習習慣の1つです。私は話し手になったときは、**どの子も目がつながったことを確認してから話すことを心掛けています。**ですから、子供たちの前に立っても、目を繋いでいない子がいたら、話を始めません（※ただし、その先、子供たちが集中を維持できるかどうかは、子供たちの問題でなく話し手の力量だと思っています）。

最後に、下の写真は、大澤先生（主事）の昨日から始まった本校独自の「OJT」です。いつも東職員室（旧事務室）にいる先生に、いろんな面から学校を知ってもらうために、この企画を立ち上げました。朝、外に出てみると子供たちの挨拶や地域の方々からたくさんの元気をもらうことができました。これからも時々、大澤先生が東職員室を飛び出して先生方や子供たちの側に行く機会があります。そんな時はどうぞ温かく迎えてください。

（文責：手代木）